

強い沖縄をつくる為には若手の農業担い手を育てなければならない！そのためには、ビニールハウスの修繕費の補助をしなければ担い手不足になるのは時間の問題！！

Q 島袋ダイ
現在の県内の遊休地、耕作放棄地の現状と課題についてお答えください。

A 農林水産部長
令和2年の耕作放棄地面積は3592ヘクタールとなっており、令和元年と比較して81ヘクタールの増加となっております。県では農地耕作条件改善事業等の活用や農業委員会の利用意向調査等により農地の再生・利活用を支援しており、年間約400ヘクタールが解消されている現状であります。

Q 島袋ダイ
経年劣化によるハウスの老朽化は個々で補助事業を活用してハウス等を整備し今まで運用してきた。ハウス上のほりも含めて全部サビで腐ってもう雨水がだ漏れなんです。土地が湿った状態になっっているんですよ。私は2年かけて調査研究してきました。提案しますが、ビニールハウス修繕費を補助メニュー化にすることによって耕作放棄地、遊休地を含めて担い手の若者が帰ってくるんですよ。おやし、おじいちゃんがやってきた土地の管理も含めて自分達が新しい時代の農業ビジネスを考えていくんです。

ここが今、沖縄県の農業の担い手の一番のポイントなんですよ。ここをクリアすることによって、新たなビジョンが出来る若い担い手を確保し、育成するためにビニールハウスの修繕費の補助制度についてどう考えているか。

A 農林水産部長
農業用ビニールハウスの修繕については令和元年度国補正予算から産地生産基盤パワーアップ事業のメニューが追加されまして後継者不在のハウスを第三者に継承する際に必要となる補助等が可能となります。

Q 島袋ダイ
これは令和に入って農林水産省を含めて国は動き出したんですね。補助が受けら

れるという形になる。コロナ禍でなかなか情報が届かなかった。しかし予算はある。第三者に継承する際の補修、要するに補強、改修とあるがその辺も具体的に掘り下げて説明下さい。

A

農林水産部長
修繕に係るメニューは後継者不在のハウスを担い手に継承することを目的としている担い手となる子が他地域や県外からUターンして、親とは別の経営として就農する場合には親とは別に独立した法人経営を行う場合には事業が実施可能となります。

Q

島袋ダイ
申請受付窓口はどこになりますか。

A

農林水産部長
基本的には市町村となります。

Q

島袋ダイ
私は令和に入って国と議論してきましたけど、農林水産省でこれだけ予算がついた。コロナ禍で情報が届いていない。県が音頭をとって市町村に伝達して農家の皆さん方に夢と希望を与えるためにこれを推進しないといけない。県はどう考えているか。

A

農林水産部長
ハウス等の修繕事業につきましては大変効果的だと思いますので市町村やJA関係機関と十分に周知を図っていききたいと思います。

Q

島袋ダイ
不利性解消事業の補助対象品目を新しい品目に対応できる考えはないか。

A

農林水産部長
新たな沖繩振興のための制度提言において地理的不利性の解消に向けて現行事業

の発展的な継承を図り引き続き輸送費コスト低減対策を推進するための提言を行っており内閣府が示した新たな沖繩振興策の基本方針等を踏まえ、令和4年度からの事業化に向けて調整を進めており、品目拡大についても新たな枠組みの中で実現できるよう協議を進めているところです。

Q

島袋ダイ
不利性解消事業は約50品目ぐらいあるが、若手の皆さん方は新しい品種で挑戦したいという声がある。新しい品種で全国に発信したいと言う気持ちがある。なかなかハードルが高いわけで、新しい生産農家のつくり方、新しい品目のつくり方を含めて、かなりの所得倍増になる可能性が高い。これは夢物語じゃなくてできるはずだから議論していただきたい。6次産業も含めた加工・出荷拠点の整備について、生産地域に加工・出荷場を申請する補助メニューについての考えはないか。

A

農林水産部長
6次産業化に取り組む農林漁業者に対して6次産業化支援事業において加工施設等の整備費用の一部補助を実施しております。意欲ある農業経営体の育成に必要な加工施設の整備として地域農業経営支援整備事業による支援も可能となっております。

Q

島袋ダイ
私が先ほど提案した各生産農家地域、私は地元が豊見城なので豊見城の話ですが、豊波地域とか保栄茂地域とか地区がある。その地区・地域で法人化なり組織・組合をつくってそこで自分達はどうのような形で出荷の販路をつくるか新しいビジネスチャンスになると思うが補助メニューのつくり方も大事と思うがどうか。

A

農林水産部長
提案のありました耕作放棄地またはビニールハウスの利活用地域からの要望をしっかりと受け止め、担い手の育成につなげていきたいと思う。

一般質問を終えて

政治は結果だ!!

今回の質問で約2年間調査をしたビニールハウスの修繕費の補助について政府自民党への要請を重ねた結果、令和元年より補助メニュースタート。

コロナ禍でその補助の通達が行き届いていなかった中、今回の質問で県を中心に市町村への通達をしっかりとさせることを約束した!!
この修繕費の補助メニューが沖繩の若手農業担い手にとって待ちに待った事業です。農家の所得の向上につながるのには確実です。早速若手の農業担い手の皆様から感謝の言葉を頂きました。改めて政治は結果だと感じたところです。



強い農業をつくる為には若い人たちの声をしっかりと聞くべき

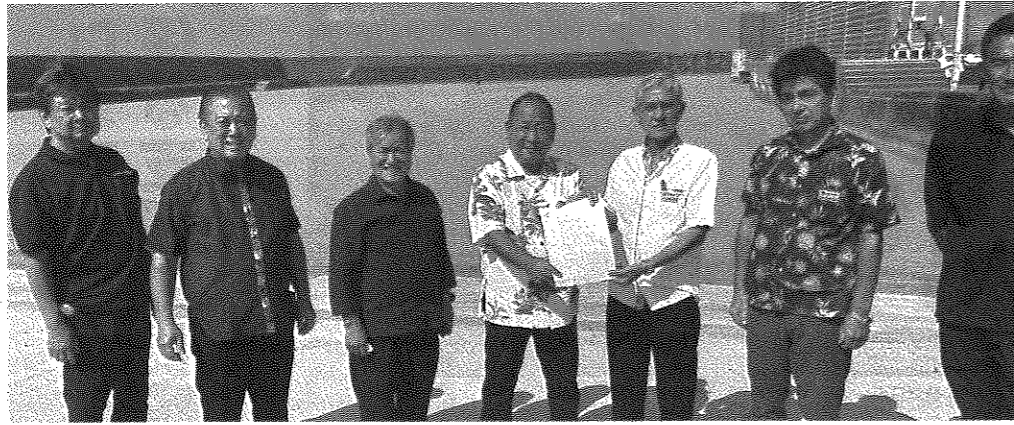
軽石問題で国や県へ早急に支援要求

漁業、観光 県内全域で影響深刻化

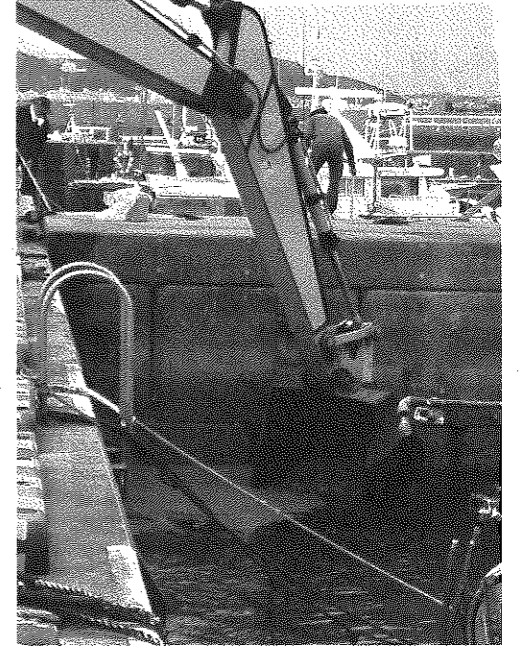
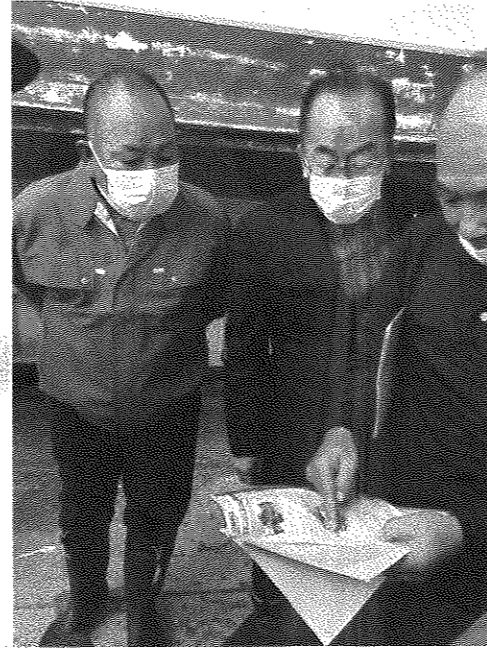
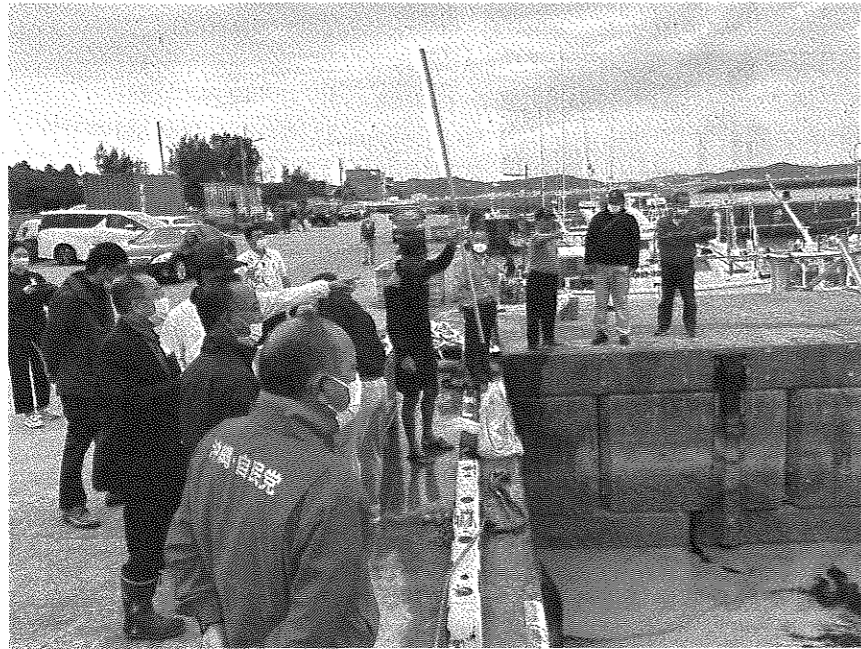
小笠原諸島の海底火山噴火により大量に流れ出た軽石被害に関する現地視察を沖縄・自民党会派を代表して、島袋大、中川京貴、末松文信、仲里全孝の4議員が国頭村の辺土名漁港を訪問しました。

知花靖国頭村長、国頭漁業協同組合村田住久組合長立会のもと、現地の視察を行うとともに、今回の被害における漁業従事者に対する出港補償等に関する要望書を受けました。

ニュース報道されている以上に、現地の被害は深刻であり、一刻の猶予も許されない状況であります。沖縄・自民党は会派を挙げて全力で取り組みます。



知花靖国頭村長より要請



南城市知念海野漁港現場を西銘沖縄担当大臣と視察